

令和3年度第1回定時評議員会 議事要旨

- 1 開催日時 令和3年6月25日（金曜日） 午前10時00分から午前10時40分まで
- 2 場 所 一般財団法人 東京都つながり創生財団
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階 会議室
- 3 評議員の現在数 3名
- 4 出席評議員の数及び氏名 3名 市川 一宏（※）
土岐 勝広
山脇 啓造
（※）ウェブ会議システムによる出席
- 5 出席監事の数及び氏名 1名 有我 康子
- 6 出席理事の数及び氏名 2名 マリ クリスティーヌ
田中 延広
- 7 議 長 土岐 勝広
- 8 議事録署名人 市川 一宏
山脇 啓造
- 9 決議事項
第1号議案 令和2年度事業報告及び決算書類承認の件
第2号議案 評議員選任の件
第3号議案 理事選任の件
第4号議案 監事選任の件

10 議事の経過

(1) 開会

冒頭、議事に入るまでの間、事務局が議事進行を務め、評議員の出席状況及びウェブ会議システムによる出席者の通信状況に問題がないことを確認した。

続いて、出席者の紹介を行ったのち、マリ理事長が開会に先立ち挨拶を行った。

定款第19条の規定に基づき議長の互選を求めたところ、山脇評議員より土岐評議員が推薦され、他評議員からの異議がなかったため、土岐評議員を議長とし、進行を委ねた。

(2) 定足数の確認及び議事録署名人の選出

議長からの求めに応じ、事務局から、本会が定足数を満たし、有効に成立していることの報告を行った。

次に、定款第23条第2項の規定に基づき、土岐議長及び出席評議員である市川評議員、山脇評議員の2名を議事録署名人に選出し、議事を開始した。

(3) 第1号議案 令和2年度事業報告及び決算書類承認の件

ア 議案説明

議長からの求めに応じ、事務局から、資料に基づき、令和2年度事業報告及び決算書類承認の件について説明を行った。また、説明の最後に、有我監事より監査結果について報告があった。

イ 質疑等

事務局による説明の終了後、評議員から主に以下の発言があった。

(意見)

財団は、制度の狭間にある問題や生活困窮の問題など、重要な業務を担っている。より広く周知を図り、自治体の仕事と関係づけていくことが大きな課題である。

ウ 決議

議長が採決を求めたところ、第1号議案は出席評議員の全会一致をもって原案のとおり承認された。

(4) 第2号議案 評議員選任の件

ア 議案説明

議長からの求めに応じ、事務局から、辞任の届出があった土岐評議員の後任に馬神祥子氏を、新たに玉野和志氏、鳥田浩平氏、湊元良明氏の3名を選任し、馬神氏については令和6年度に開催される定時評議員会終結の時まで、新たに選任される評議員については令和7年度に開催される定時評議員会終結の時までを任期とする案が説明された。その後、田中常務理事より、各候補者の選任理由及びジェンダーバランスの適正確保への取り組みについて補足説明があった。

イ 質疑等

事務局による説明の終了後、評議員から主に以下の発言があった。

(意見)

昨今、社会全般に問題意識も高まっており、男女比率は重要である。今回の選任案に異議はないが、今後増員の可能性があれば、男女比率を重視して検討すべきである。

(回答)

男女比率は重要であると認識している。引き続き、課題として取り組む。

ウ 決議

議長が採決の方法について説明した後、候補者ごとに採決を行った。この結果、候補者全員が出席評議員の全会一致をもって原案のとおり選任された。

(5) 第3号議案 理事選任の件

ア 議案説明

議長からの求めに応じ、事務局から、新たに遠藤由紀夫氏、徳田雅信氏、横山宏氏の3名を、令和5年度に開催される定時評議員会終結の時までを任期として選任する案について説明を行った。

イ 質疑等

事務局による説明の終了後、評議員から主に以下の発言があった。

(意見)

評議員の選任と同様に、引き続き男女比率に配慮すべきである。

ウ 決議

議長が採決の方法について説明した後、候補者ごとに採決を行った。この結果、候補者全員が出席評議員の全会一致をもって原案のとおり選任された。

(6) 第4号議案 監事選任の件

ア 議案説明

議長からの求めに応じ、事務局から、新たに古屋留美氏を、令和5年度に開催される定時評議員会終結の時までを任期として選任する案について説明を行った。その後、マリ理事長より、役員等の男女比率や、女性活躍という視点の重要性について補足説明があった。

イ 質疑等

事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

ウ 決議

議長が、候補者について採決を行ったところ、出席評議員の全会一致をもって原案のとおり選任された。

(7) 報告事項

ア 事業の実施状況について

資料に基づき、事業の実施状況について報告を行った。事務局による説明の終了後、以下のとおり質疑が行われた。

(質問)

AI チャットボットとはどのようなコンテンツか。

(回答)

多言語で質問に答えられるコンテンツを想定している。財団に導入するに当たり、どのような機能が適当であるか等の検討を行っている。

イ 経営改革プランについて

資料に基づき、経営改革プランについて報告を行った。事務局による説明の終了後、以下のとおり質疑が行われた。

(質問)

やさしい日本語の認知度 40%とあるがどういう考え方か。

(回答)

昨年度文化庁が初めて実施した調査ではやさしい日本語の認知度が3割弱であった。財団としては、今年度の東京都内の認知度を捕捉し、今年度3割と想定し、5%ずつ認知度を増やしていくことを数値上の目標としている。調査方法については検討中である。

1 1 その他

議長から、その他の発言を求めたところ特段の発言はなかった。

1 2 閉会

以上をもって全ての議事が終了した。最後に、退任する土岐評議員が挨拶を行った後、閉会を宣言し、令和3年度第1回評議員会を終了した。